

研修を行うことができます

研修ローテーション例 *基本領域である「総合診療」のみの場合は、1年次から3年次までが該当部分

家庭医療志向の場合（4年間） 総合診療専門研修と連動して研修し合わせて4年

1年次	内科（12ヶ月）		
2年次	総合診療/家庭医療Ⅰ（12ヶ月）		
3年次	救急（3ヶ月）	小児科（3ヶ月）	総合診療/家庭医療Ⅱ（6ヶ月）
4年次	家庭医療Ⅰ（12ヶ月）	<small>「総合診療Ⅰ」と「家庭医療Ⅰ」で合計18ヶ月以上かつ同一施設で12ヶ月連続研修 「総合診療（家庭医療Ⅰ）」と「総合診療（家庭医療Ⅱ）」で合計24ヶ月が必要</small>	

	1年次	2年次	3年次	4年次
例①	道立羽幌病院 (内科)	道立羽幌病院 (総診Ⅰ/家庭Ⅰ)	砂川市立病院 (救) (小) (総診Ⅱ)	道立羽幌病院 (家庭医療Ⅰ)
例②	砂川市立病院 (救) (小) (総診Ⅱ)	道立羽幌病院 (内科)	道立羽幌病院 (総合診療Ⅰ/家庭医療Ⅰ)	
例③	市立旭川病院 (内科)	砂川市立 留萌市立 (救) (小) (総診Ⅱ)	道立羽幌病院 (総合診療Ⅰ/家庭医療Ⅰ)	自由 (選択研修)

- 例①：羽幌病院で内科や総合診療の基本を身に付け、総合病院で実践、再度羽幌へ戻ります（推奨）
 例②：同一施設が3年連続になりますが、継続した医療を学ぶことができます。
 例③：最低限の条件を満たしつつ、4年次では6カ月間の自由な選択研修を選択することができます。

病院総合診療志向の場合（4～5年間） 総合診療専門研修をベースに病院総合診療専門研修1～2年が追加

1年次	内科（12ヶ月）		
2年次	総合診療Ⅰ（12ヶ月）		
3年次	救急（3ヶ月）	小児科（3ヶ月）	総合診療Ⅱ（12ヶ月）
4年次	病院総合診療（12ヶ月）		

	1年次	2年次	3年次	4年次
例①	道立羽幌病院 (内科)	道立羽幌病院 (総合診療Ⅰ)	砂川市立病院 (救) (小) (総診Ⅱ)	道立羽幌病院 (病院総合診療)
例②	道立羽幌病院 (内科)	道立羽幌病院 (総診Ⅰ)	砂川市立病院 (救) (小) (総合診療Ⅱ)	道立羽幌病院 (病院総合診療)

- 研修施設は、道立羽幌病院と砂川市立病院となっており、この2カ所での研修の場合4年間となります
 例①：総合診療Ⅰが長めの総合診療専門研修
 例②：総合診療Ⅱが長めの総合診療専門研修

内科とのダブルボードを目指す場合（総合診療3年＋追加1～2年間）

総合診療専門研修期間中の「内科」12ヶ月は「内科」研修とみなされ、12ヶ月の研修が免除となります。また、「総合診療Ⅱ」の期間が12ヶ月あり、内科指導医がいた場合など諸条件を満たした場合は研修期間とみなされ、さらに12ヶ月免除となります。そのため、追加の内科研修は所定の3年間から上記を引いた年数となります。ダブルボードの希望がある場合はローテーションを配慮しますのでお知らせください。